

# 2021年度 決算概要

事務長 松屋 直人

# 広報 すずらん

発行日：2022年7月1日（平成34年創刊）  
 発行元：社会福祉法人すずらの会 理事長 松屋 直人 URL: <http://www.suzuran.or.jp>  
 所在地：〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台7-6-4 TEL: 042-745-8080  
 編集：広報委員会

第84号  
2022年7月

資産の部		負債の部	
流動資産	311	流動負債	102
		固定負債	350
		負債の部合計	452
固定資産	1,273	純資産の部	
基本財産	887	基本金	278
その他	386	国庫補助特別積立金	154
		その他の積立金	179
		次期繰越増減差額	521
		(内当期増減差額)	-0
		純資産の部合計	1,132
資産の部合計	1,584	負債純資産の部合計	1,584

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部		
収益	介護保険事業収益	6
	就労支援事業収益	150
	障害福祉サービス等事業収益	890
	その他の事業及び寄付金収益	0
	収益計(1)	1,046
費用	人件費	684
	事業費	43
	事務費	187
	就労支援事業費用	114
	その他	22
費用計(2)	1,050	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-4	
サービス活動外増減の部		
収益(4)	5	
費用(5)	2	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-0	
特別増減の部		
特別収益計(8)	0	
特別費用計(9)	0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-0	
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額(12)	482	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	482	
基本金取崩額(14)	0	
その他の積立金取崩額(15)	105	
その他の積立金積立額(16)	65	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	521	

※端数処理の為、合計が合わない場合があります。  
**社会福祉充実残額** (2021.3.31現在) -531百万円

左欄に、2021年度の法人単位の貸借対照表、事業活動計算書の概要及び社会福祉充実残額を記載しました。

事業活動計算書のサービス活動増減の部における収益(収入)は、前年度から引き続き新型コロナの影響もあり、就労系事業所の利用率向上に努力しましたが、1,045百万円(前年度比101%)と微増という結果となりました。

費用(支出)は、通常費用の節減に努めましたが、環境改善を目的としたグループホーム2住居の整備等を行ったことから、事務費が対前年比106%に増加したため、1,050百万円(前年度比101%)と微増という結果となり、サービス活動増減差額は-4百万円となりました。

また、人件費は、684百万円(前年度比98%)で、収益計(1)に対する比率は、65%でした。

当期活動増減差額(11)は、-0百万円(前年度比+2百万円)となりました。

2期継続した活動増減差額のマイナスを、ほぼバランスさせることが出来ましたが、健全な法人の運営のために、引き続き収支の改善に、最大限の努力を傾注することとしています。

なお、社会福祉充実残額は、-531百万円となり、福祉サービスに使用されない内部留保がないことが確認されました。

## Pure Heart 作品展 2022

開催期間：2022年7月25日(月)13時～  
2022年7月31日(日)まで  
会場：相模原市立市民健康文化センター  
ふれあい広場

ぜひ足をお運びください♪



## 編集後記

今号の特集記事では、事業所の余暇活動の一部を紹介させていただきました。記事を作成して改めて感じたことは日々働いていたり、様々な活動を行っている利用者の皆さんにとって余暇はとても大事な活動の1つということです。

引き続き法人内でコロナ禍の状況でも工夫しながら、様々な余暇活動を利用者の皆さんに提供していけるよう努めて参ります。(広報委員会)



## 2021年度 苦情解決報告

苦情解決委員会 委員長 川手 美香

苦情解決委員会では、皆様からいただいた「ご意見」について、当該事業所での状況の把握、対応、改善策を検討した報告書をもとに、委員による事前検討を行った上で、第三者委員を交えたワーキングチームにより月1回、検討会を開催しています。

検討会では事業所の対応が適切であったかどうか、再発防止策、改善策が十分であるか等を検証しています。

2021年度に「ご意見」として取り上げた件数は24件でした。

内訳としては、職員の伝え方や対応の不備による「職員の接遇」によるものが最も多かったほか、地域の方から公共の場でのマナーについての情報提供などいただきました。この他、各事業所がご意見や要望に積極的に気付いて対応したご意見もありました。このような苦情解決の仕組みを通して、品質の改善、再発防止への取り組みを行っています。

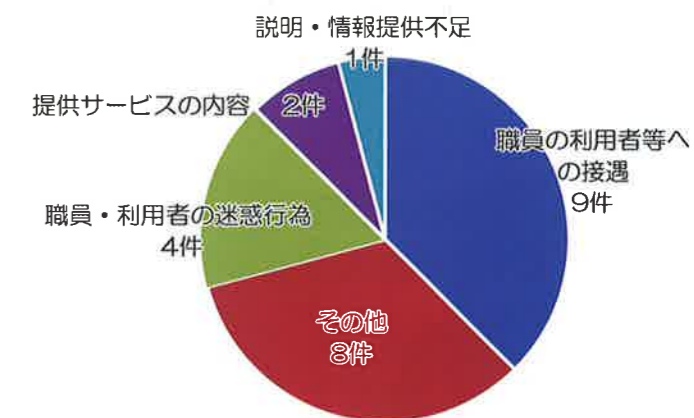
「再発防止」「サービスの質の向上」のための取り組みとして、利用者、そのご家族、関係機関、そして法人内の職員間で日頃から積極的にコミュニケーションを図り、情報を共有できるつながりを築いていくことが大切です。

特に、コロナ禍では対面でのコミュニケーションが不足してい

るため、より意識して情報を発信し共有していくことが求められます。また、個々の利用者に寄り添った伝え方や対応を意識して行動することや「ご意見」となる前に気付くことができる仕組み作りが大切であり、実践継続していくことが重要となります。

このような取り組みを通して、利用者や家族の皆様から安心して「すずらの会」をご利用いただけるよう、今後も苦情解決委員会としての役割を果たせるよう取り組んでまいります。

### 2021年度 ご意見件数内訳



## ほっこり通信

今回は『ワークショップ・フレンド』の佐藤職員のエピソードをご紹介します。

私が働いている『ワークショップ・フレンド』では、企業に就労することを目標に作業や活動を通じて挨拶や報告等、就労に向けて必要なスキルを習得することを目的として活動しています。作業以外では、就労に向けて必要なことを学ぶ『就労活動準備講座』を年に数回行っています。今回ご紹介するほっこりした出来事はその就労活動準備講座での出来事です。

その日のテーマは『自己アピール』。自分のよいところや苦手なところをシートに書いてもらいました。ある利用者の方のシートを見ると、自分のよいところに「お母さんにありがとうと言える」と書かれていました。

“普段から感謝の気持ちを伝えることが出来ているのだろうな。ありがとうと言えることを自分のよいところとして考えることが出来ていてすごいいな。”と感じ、とてもほっこりしました。また、感謝の気持ちを伝えることを自分は出来ているかな？と自分を振り返るよい機会をもらったなと感じたエピソードでした。



## 2022年度 新規採用職員



**グリーンハウス：大矢 健太**  
 一日も早く仕事に慣れて、どんな支援が必要なのかを考え、伝わりやすい言葉掛けて支援していきたいと思えます。



**タートル：鈴木 千穂**  
 利用者の皆さんへの支援スキルを向上させ、一日でも早く法人の力になれるよう頑張ります。また、車の運転の練習も頑張りたいです。



# 余暇の時間を工夫して楽しもう！ ～コロナ禍での余暇活動の取り組み ガーデンプラフト体験～

大和市障害者自立支援センターでは、1ヶ月に1回、大和市在住の障がいのあるの方々が参加できるイベントの企画を行っています。2020年3月以降新型コロナウイルス感染拡大の影響により、余暇活動のイベントが休止になっていました。感染状況が落ち着いてきた今年度から感染予防対策を行いながら、イベントを再開しました。今回は就労継続支援B型事業所レインツリーの職員を講師にお招きし、実際に予防対策しながら行われたガーデンプラフト体験の活動の様子や参加者の声をお届けします。



今回のガーデンプラフト体験には15名が参加してくださいました。

体験が始まる前にも参加する利用者の皆さんから「久しぶりのイベントで楽しみにしてきました。」とお話を伺いました。

## 〈感染対策1〉

体験時には、感染予防の為に、席の間隔を開け、お一人様席に座ってもらったり、パーテーションで席を区切りました。



## 〈感染対策2〉

利用者の皆さんに選んでもらう材料以外は事前に各テーブルに用意するように講師の方が対応して下さいました。

材料を選ぶ際には、密接にならないように2つのグループに分かれて、1人1人順番に材料の多肉植物やザルを選びました。



色々な形や色の植物を選んで作りました。完成した作品は家に飾ろうと思います。



## 参加者Sさんにインタビュー

- Q.1 今回地域イベントに参加した理由を教えてください。  
A.1 イベントが再開するまでは、家で過ごすことが多かったです。今回久しぶりにイベントがあり、植物を作ったりするのが、楽しそうだったので、参加しました。
- Q.2 徐々にイベントに参加してみたいか教えてください。  
A.2 講師の方が一から丁寧に教えてくれたので、自分でもうまく作品を作ることができました。
- Q.3 またこのような機会があれば参加したいですか？  
A.3 地域イベントで今まで参加したイベントはどのイベントも楽しかったので、また参加したいです！



## 就労継続支援B型事業所レインツリーの職員にインタビュー

- Q.1 企画を聞いた時の率直な感想を教えてください。  
A.1 レインツリーの商品や作業内容等評価頂けたのかなと思いつてもありがたいお話だと思いました。
- Q.2 イベント開催で工夫した点はありますか？  
A.2 コロナ対策のため、事前に個別に置く材料はテーブルに置く、選んでもらう際には2つのグループに分ける形で工夫しました。また作品の工程を説明する際には、ホワイトボードに大きな紙を用いて視覚的に分かりやすいように説明しました。
- Q.3 コロナ禍での開催でしたが、いかがでしょうか？  
A.3 参加された皆さんが協力してくれたこともあり、スムーズに行うことができました。事業所でもコロナ禍で店頭だけでなくネット販売も行いながら、キットやパーツも販売しています。またこのような企画があれば協力させて頂けたらと思います。



## すずらんの会の6月からの余暇活動の取り組みについて

- 2022年6月1日よりすずらんの会の余暇活動支援の取り組みが変わりました。
- ①日中活動事業所やグループホームの余暇活動は十分なコロナ対策を実施した上で飲食を伴う行事や日帰り旅行の取り組みを行うことが可能になりました。
  - ②すずらんの会の余暇支援活動サークル（書道、華道、美術、ゴルフ、ダンスサークル）については、参加上限人数を拡充しました。
  - ③あいあいSの食事、入浴、カラオケ等の移動支援についても十分な感染対策を行うことで再開しました。

(編集：広報委員会)